

意欲を引き出すもの

教育政策研究所が以前、子どもたちを対象に「どうすれば勉強がしたくなるか」という質問紙調査を行いました。その上位に上がった項目は「①先生にほめてもらう②先生の教え方がわかりやすい③よきライバルを持つ④つきたい職業がはっきりする」です。子どもは教師に認められ、ほめられるとやる気が生まれます。教師の教え方がうまいと授業が楽しくなります。3つめは、よきライバルを持つと頑張れます。野球の巨人・阪神戦、ラグビーの早・明戦などはお互い切磋琢磨して力をつけてきました。4つめは、将来の見通しが立つと、どんな資格が必要か、それを取得するにはどうすればいいか、など人は頑張ります。

今年度は新型コロナウイルスのせいで、予定通り講座が実施できなくて皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ホームページ掲載やネット配信で急場をしのいできましたが、やっと通常の講座に戻ります。採用試験まで残り少なくなっていますが、皆さんも意欲をもって頑張ってください。

いじめのない学級づくり

いじめに起因する子どもの自殺等の問題が後を絶ちません。社会においてもパワハラをはじめ多種多様なハラスメントがマスコミで報じられています。いじめのない学級・学校づくりは永遠かつ喫緊の課題といってもよいでしょう。いじめの概念について再確認しましょう。

「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」

（「いじめ防止対策推進法」第2条）



沖縄県教育委員会「道徳教育」パンフレットより転載

できないのは能力の限界だからでない。
執念が欠如しているのだ。

（土光敏夫、実業家・元経団連会長）

◎次の問題（一般教養・社会）にチャレンジしてみよう。（東京アカデミー、一般教養問題集、2020年度版）
問. 法律の制定に関する説明として正しいものを、次の①～④から選べ。

- ① 法律案は衆議院に最初に提出し、その後、参議院で審議することになっている。
- ② 法律案を提出できるのは議員だけであり、内閣は提出することができない。
- ③ 衆議院で可決し、参議院でこれと異なった議決をした法律案は、衆議院で出席議員の3分の2以上の多数で再び可決したときは、法律となる。
- ④ 法律が成立するためには、参議院と衆議院の議決が必ず一致しなければならない。

（正解は末尾にあります。）

◆ 全国模擬試験（今年度最後の模試です）

実施日：第2回：2020年6月13日（土）（申し込み：6月1日～6月5日）

場 所：北部生涯学習推進センター

時 間：9時00分～13時10分

答 ③（解説：①の規定があるのは予算案。②基本的には内閣が提出。）